

# ふしみサラダボール子育て情報

「遊びは子どもの生活そのもの」

令和5年11月8日号

板橋富士見幼稚園



## 自然の中へ

人類（ホモ・サピエンス）は約40万年前に、この地球に誕生したと言われています。もともと自然の中から生まれてきた人類は、長い間自然と共生しながら自己性（自分らしさ）を保ち続けてきました。家の前には田畑や木々が立ち並び、田畑で取れた野菜や川魚等を食の文化として生活し、自然と生活が一体となって、人間の暮らしを支えていきました。これが農耕民族です。また、狩猟民族は時に移動しながら動物を生きる糧とし、自然と共に共生し暮らしてきました。

時代が進み、経済社会が豊かさをもたらした頃から、たくさんの人間が暮らしを求め家を建て生活し始め、都市ができていきました。

さらに時代が進むにつれて自然と共生した生活はすれ違うことが多くなり、単に自然を自己の癒しや精神性を支える道具のように捉え始め、共生感は薄れていきました。もともと自然と共生していた時代から、だんだんと自然と生活が離れ、私たちは、求めたい時にだけ自然に入り共生するようになったのです。

いつしか人間が生まれてきたルーツである自然を、知らぬ間に経済社会の資源として使い、共生していくことを忘れてしまいました。近年世界的に問われている大きな課題です。

そしてそれに気づいた今、自然を大切にする心を取り戻そうという取り組みが始まっています。

富士見幼稚園の子ども達は、園の自然と生活を共にし、共生の道を歩み始めています。苗を植え、自分たちで野菜を収穫し、友と味わい喜び、恵みへの感謝と大切に思いやる心を培うのです。



自然の中で生活するということは、その中の多様性に触れるということです。子ども達は自然の営みに思いを巡らせ、様々な考え方を学び工夫をし、多様な考える引き出しを増やし学習していくのです。まずは身近な植物の変化や季節の移ろいに目を向けてみませんか。

【秋が深まり園庭やお部屋で落ち葉やどんぐりを使って遊びを楽しんでいます】